



～令和4年度市民意識調査について～  
令和4年度 第49回市民意識調査結果報告書を作成しました

要 旨

市民生活の現状や市民意識、行政に対する要望や関心度を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施しました。

本調査は、昭和49年度に産業優先から生活優先へと価値観の転換が求められた社会背景の中で、市民の意思を反映した行政やより良い施策を図るための基礎的な資料を収集する目的で第1回目の調査を実施して以降、毎年度実施しているものです。

概 要

調査内容

今年度は、満18歳以上の沼津市民2,150人を対象に、「ぬまづの宝100選」、「公共交通の利用」、「高齢者運転免許証自主返納」、「あなたの地震、津波対策」、「障がい者(児)福祉」、「沼津市の文化芸術」、「行政のデジタル化」について調査しました。

☆調査結果について、分析を一部ご紹介いたします。

「行政のデジタル化」に関する設問について

行政手続のオンライン化についてうかがったところ、「期待する」が64.7%、「期待しない」が30.8%という結果となった。また、年代別でも、各年代ともに「賛成」が多く、40代以下の世代では約8割以上の方が行政手続のオンライン化に期待していることがわかりました。ただし、70代以上の世代では、「期待しない」とした割合が「期待する」とした割合よりわずかに高くなりました。

閲覧場所：市役所2階市民相談センター、市立図書館、戸田図書館

※なお、この報告書につきましては11月15日(火)より市ホームページでもご覧いただけます。販売はいたしません。



沼津市ホームページ  
(市民意識調査)

お問い合わせ先

沼津市役所 企画部 生活安心課  
直通：055-934-4700

